

よくある話 その3



Q #7119 とは？

A 「東京消防庁救急相談センター」の番号です。

※「#7119」がつながらない場合は、03-3212-2323

解説

- ◀◀救急相談センターの主なサービス▶▶
- ▶症状に基づく緊急性の有無のアドバイス
- ▶受診の必要性に関するアドバイス
- ▶医療機関案内
- ▶緊急の場合 → 救急相談センターから
119に転送します。



詳しくは東京消防庁ホームページへ

お願ひ

救急車が重症患者のもとへ
いち早くかけつけるために

救急車の平均到達時間は
9分54秒（令和5年中）



本当に必要とする方のものとに、いち早く救急車が到達できるように、**救急車の適正利用**にご協力ををお願いします。

【知っトク！⑤ 子どもの急病や健康相談をしたいときは】

東京都

「子供の健康相談室」開設時間 平日：18時～翌朝8時

#8000

※「#8000」がつながらない場合は、03-5285-8898



【知っトク！⑥ 休日や夜間に急に具合が悪くなったときは】

	練馬休日急诊診療所 (練馬区夜間救急こどもクリニック) ・050-5810-4682(予約専用) ・03-3994-2238(問合せ専用) ・練馬区役所東庁舎2階		石神井休日急诊診療所 ・050-5526-1262(予約専用) ・03-3996-3404(問合せ専用) ・石神井庁舎地下1階			
	小児科	内科	小児科・内科			
月曜～金曜	20時～22時30分	診察なし	診察なし			
土曜	18時～21時30分					
日曜 祝休日 年末年始	10時～11時30分 13時～16時30分 18時～21時30分					
練馬区医師会ホームページまたは予約専用電話から予約可						



医療のかかり方ミニガイド

練馬区内には病院・診療所が約600施設ありますが、どこにかかればよいのか、迷うことはないでしょうか？このミニガイドでは、よくある質問に合わせて、医療のかかり方について説明します。まずは、チェックしてみましょう。

大きな病院って、
どんなときにかかるもの
なの？

P2,3

ちょっと風邪を引いた、
おなかを下したときは、
どんな病院にかかるのがいいの？

P2



救急車を呼ぶべきか迷った
ときはどうしたらいいの？

P4

【知っトク！① 医師にかかる際の5つの心構え】

- ① 聞きたいこと・伝えたいことはメモしておきましょう
- ② 自覚症状と病歴をしっかり伝えましょう
- ③ 肝心なことはメモしておきましょう
- ④ 医師とよく相談して治療方法を決めましょう
- ⑤ 受診後の変化を伝えましょう（再診時）

協力：一般社団法人練馬区医師会
公益社団法人練馬区歯科医師会
一般社団法人練馬区薬剤師会

令和7年（2025年）2月発行
練馬区地域医療担当部地域医療課
☎03-5984-4673



●かかりつけ医を持ちましょう！

p2

よくある話 その1



ちょっと風邪引いたなー。
近いから、大きな病院に行こう。
大きいと安心だし。

Q カかりつけ医とは？

A

日頃から健診や治療などを行ってくれる
「身近な医師」のことです。



解説 まずは「かかりつけ医」を受診しましょう！

かかりつけ医は、病気の予防や重症化を察知し、
早期治療、専門病院への紹介などを行います。

同じ理由から、かかりつけ歯科医や薬剤師を持つことも大切です。

自宅や職場の近くに、かかりつけ医を見つけて
おきましょう。



【知ったク！② カカリつけ医からの紹介状があると】

かかりつけ医の紹介状がないまま大きな病院を受診すると、診察料とは別に、7,000円程度（病院により異なります）の費用がかかる場合があります。紹介状に記載された患者情報があれば、スムーズに診療や検査などを受けることができます。また、検査の重複が少なくなるなどのメリットがあります。

【知ったク！③ カカリつけ医や医療機関を見つけたいときは】

練馬区医師会
医療連携・在宅医療
サポートセンター

電話 03-3997-0121（平日9時～17時、土曜9時～12時）

インターネット 「練馬区医師会 医療機関」で検索



練馬区歯科医師会
(歯医者さんを探す)

インターネット 「練馬区歯科医師会 歯科医院」で検索



●病院・診療所にはそれぞれ役割があります！

p3

よくある話 その2



手術うまくいってよかったなー。
まだ万全じゃないから、
もうちょっとゆっくりして
退院かなー。



えつ!? もう退院って
早すぎない?
どういうこと?

Q 病院・診療所の役割分担とは？

A

病院・診療所にはそれぞれ専門分野があります。
患者の容体に応じて、病院・診療所は連携して
治療を行います。

解説 病院・診療所には専門・役割分担があります

高度急性期 ・急性期病院	回復期 病院	慢性期 病院
精密検査のほか、救急や重症患者の治療を行う。	在宅復帰を目指すリハビリを中心とした治療を行う。	長期間の療養が必要な患者の治療を行う。
かかりつけ医（診療所など）		
日常的診療などを行い、必要に応じて他の医療機関を紹介する。		

【知ったク！④ お薬手帳の活用を】

お薬手帳は、これまでにかかった病気で服用した薬や副作用の記録などの情報を記録するためのものです。

相性の悪い薬の飲み合わせや、薬の重複を回避することができます。
薬のことで質問があれば、まず薬剤師に相談しましょう。

【お願い・・・はしご受診を控えましょう】

同じ病気で複数の医療機関を受診することを「はしご受診」といいます。重複する検査や投薬によって医療費の負担を増やしてしまうだけでなく、かえって体に悪影響を与えることがあります。

治療に不安がある場合は、そのことを医師に伝えて話あってみましょう。また、「かかりつけ医」を持つと、必要に応じて適切な病院や専門医への紹介もしてもらえ、「はしご受診」がなくなります。